

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	検査事務			
担当部署・課長名	検査担当	課	係	課長名 長瀬 正人

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 【施策名】 適正な財政運営	施策番号	行 - 1	-
	総合計画書 (ページ)	119	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 6	財産管理費	事業 5	検査事務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	------	-------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市が契約した工事若しくは製造その他についての請負契約又は物件の買入れその他の契約のうち、検査員の検査を要する契約	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 完了検査件数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 契約図書に基づき出来形、品質、数量等が確保されているか確認し、契約の適正な履行を確保する。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 検査合格率
		③ そのために何をしましたか。 契約書、仕様書及び設計書その他関係書類により、これらに適合した施工、納品がなされているか検査した。また、実地において、施工状況等の検査を実施した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①工事請負契約に関する検査(完了検査)件数 ②委託契約に関する検査(完了検査)件数 ③物品等の買入れ契約に関する検査(納品検査)件数 ④土地契約に関する検査件数

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	件	103	86	82	/	/
		成果指標	②の数値	%	100	100	100	/	/
		目 標	②の目標値	%	100	100	100	/	/
			目標値設定の考え方	検査を通じて、契約の適正な履行を確保する。					
活動指標	③の数値	件	①60 ②15 ③19 ④ 9	①49 ②15 ③16 ④ 6	①53 ②19 ③ 9 ④ 1	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	83,861	50,741	56,099	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財源	一般財源		円	83,861	50,741		56,099
			特定財源		円	0	0		0
			(うち受益者負担)		円	0	0		0
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	1.0	1.0		1.0
			所要人数(再任用)		人	1.0	1.0		1.0
			職員人件費(再任用以外)		円	8,267,000	8,253,000		8,244,000
職員人件費(再任用)		円	2,974,000	3,020,000	3,019,000				
事業費+人件費		円	11,324,861	11,323,741	11,319,099				

この仕事における市の裁量 市の裁量は無い

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		地方自治法において、普通地方公共団体は、契約の適正な履行を確保するため、必要な検査をしなければならないと定められている。 市では、東大和市契約事務規則及び東大和市検査事務規程において、検査についての必要な事項を定め、市が締結した工事若しくは製造その他についての請負契約又は物件の買入れその他の契約に関する検査を実施している。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 検査員による検査の対象契約金額を30万円から100万円以上に変更し、検査執行の効率化を図っている。 公共工事における公正な評価を実施するため、東大和市工事成績評定要綱を制定し、監督員及び検査員による評価を実施している。また、評定結果を工事受注者へ通知するとともに、優秀工事については、市公式ホームページにおいて公表している。

仕 事 の 内 容	検査事務			
担当部署・課長名	検査担当	課	係	課長名 長瀬 正人

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	関係団体から、工事成績評定における優秀工事に関する市長表彰制度の導入について要望が寄せられている。			

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 検査事務は、契約の適正な履行を確保するために実施するものであり、市民協働には馴染まない業務である。			

7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事検査において、軽微な指摘事項が散見される。 ・工事成績評定について、工種により評定点に差が見られる。 			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の工事検査における指摘事項について、工事主管課へ周知し、受注者への指導の参考にしよう促した。 ・平成29年度の工事成績評定結果について、工種別に分析し、工事主管課へ情報提供した。 				
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の工事検査において、一部に改善が見られるものの、軽微な指摘事項が散見される状況である。 ・工事成績評定の工種別の状況については、分析を継続し、把握しておく必要がある。 				

8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・工事検査の指摘事項を工事主管課へ情報提供し、受注者への指導等の参考にしよう促すことについては、継続的に行っていく必要がある。 ・工事成績評定の工種別分析結果を工事主管課へ情報提供することについては、継続的に行っていく必要がある。 			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
<ul style="list-style-type: none"> ・工事検査の指摘事項を受注者への指導等の参考にすることについては、監督経験が少ない職員（特に事務職員）に対しては、個別の対応が必要となる。 ・工事成績評定の分析結果の情報提供については、工事成績評定作成時に必要なデータを入力し、データを蓄積しておく必要がある。 				
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。